



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

第 66 号

令和 3 年 1 月 12 日

かみかわ



寺前駅前イルミネーション

議案審議の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ～ 5

意見交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ～ 9

5人が登壇 いっぱん質問・・・・・・・・・・ 10 ～ 15

12月 定例会

議案審議

条例の制定

〔議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例〕

公職選挙法の一部改正に伴い、新規に条例を制定するものです。

選挙運動用自動車の使用、ポスター・ビラの作成費用を、一定の範囲内で公費負担とすることが可能となります。

〔議会議員及び町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例〕

公職選挙法では、選挙公報の発行は各市町任意制であり、県下では郡内3町のみが発行していませんでした。この度、有

第99回定例会は、12月8日から22日までの15日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、町からは人事案件5件、条例の制定及び一部改正6件、規約変更1件、補正予算6件、承認1件の19件、また、議員発議2件の計21件が提案され、慎重審議の結果、議員発議1件を除き、いずれも原案のとおり承認、可決しました。また、一般質問は5人の議員が行い、行政への提案や改善点等について質疑応答が行われました。

条例の一部改正

〔指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例〕

これまで、指定居宅介護事業所（あやめ苑、うぐいす荘等）の管理者は、主任介護支援専門員でなければなりませんでしたが、確保が困難な場合は、介護支援専門員でも管理者とすることが可能となります。



病児病後児保育施設

教育委員会教育長の任命の件

令和2年12月31日で任期満了となる入江多喜夫氏を、引き続き任命したい旨の提案があり、全会一致で同意しました。任期は令和3年1月1日から3年間です。

教育委員会委員の任命の件

令和2年12月20日で任期満了となる足立敏子氏の後任に、松田郁子氏を任命したい旨の提案があり、全会一致で同意しました。任期は令和2年12月21日から4年間です。

足立敏子氏には、4期15年にわたり教育行政の振興に多大なるご尽力をいただきました。

固定資産評価審査委員会委員の選任の件

令和2年12月8日で任期満了となることに伴い、山名實良氏（新任）、西畑強氏（再任）、宮本善郎氏（再任）を選任したい旨の提案があり、全会一致で同意しました。任期は令和2年12月9日から3年間です。



新教育委員
まつだ 郁子氏（大山）



新固定資産評価委員
やまな 実良氏（寺前）

令和2年度一般会計 補正予算（第7号）

歳入歳出それぞれ35
9万3000円を減額し、
総額を101億4275
万9000円とするもの
です。

歳入の主なものは、新
型コロナウイルスワクチ
ン接種体制確保事業費補
助金の増額、私立保育所
運営費負担金の減額等
です。

歳出の主なものは、地
籍調査測量委託料・林業
IT化促進機器導入補助
金・新型コロナウイルス
ワクチン接種体制確保事
業費・庁舎等電話機回線
更新工事費の増額、元氣
回復支援給付金の減額等
です。

「恒久平和のまち宣言」 制定の件

世界では、未だ各地で
紛争が続いています。原
爆の惨禍を繰り返さない

ために「核兵器のない世
界」を目指し、全世界す
べての人々が幸せになる
よう、平和実現に向けて
宣言するものです。

神河町恒久平和のまち宣言

豊かな山・川・田・畑に囲まれ、高原、名水、歴史・文化にふれあえるなか
で、安心して安全に過ごせることは神河町民すべての願いです。

唯一の被爆国である日本においては今もなお、放射線による被爆者の苦
しみは続いています。

世界に目を転じれば、未だに宗教や民族の違いによる悲惨なテロや地域
紛争が絶えず、「核兵器」の存在が人類の生存に深刻な脅威をもたらしてい
ます。

神河町は、人類共通の願いである恒久平和の実現に向け、日本国憲法の
平和主義の精神に基づき、核兵器をもたず、つくらず、もちこませずの「非核
三原則」を堅持し、かけがえのない命と青い地球を未来へ引き継ぎ、全世
界・全ての人々が幸せになるため、「恒久平和のまち」をここに宣言します。

令和2年12月

神河町

反対討論

澤田 俊一

慎重な取り扱いを！

私は、宣言の本文に書
かれている「核兵器のな
い平和な社会の実現」に、
決して反対するものでは
ありません。
事前の総務文教常任委
員会などで、丁寧な説明
や意見を求められた状況
は無く、大変残念である。
神河町として広範な社
会に対して宣言するに
は、もう少し時間をかけ
て、町内外の有識者の意
見を十分に聴き、慎重に
取り扱われるべき案件で
ある。
核兵器をもたず、つく
らず、もちこませずの「非
核三原則」を堅持するこ
とにより、平和な社会を
実現する本文の趣旨を明
確にするために、宣言の
表題を「核兵器廃絶・平
和のまち宣言」あるいは
「非核平和のまち宣言」と
することが、ふさわしい
と考える。

賛成討論

吉岡 嘉宏

「恒久平和の希求」の
精神に賛成！

国連総会で採択された
「核兵器禁止条約」は、50
か国以上の批准が達成さ
れ、2021年1月に発
効の見通しとなった。
こういった情勢の中で
県下41市町中、平和宣言
をしていない3市町のう
ちの一つである神河町が
宣言を行うことは有意義
である。
世界中には核兵器が存
在し、人類の生存に大き
な脅威を与えている。核
兵器の力を背景とした平
和が有りうるとは到底思
えない。
神河町がこのたび「恒
久平和のまち宣言」を行
い、恒久平和の希求とそ
の実現のために様々な取
組をしていただくという
思いで賛成する。

国へ意見書を提出

激甚化する自然災害から「命」と「くらし」を守るための対応と社会資本整備の更なる推進を求める意見書

近年、激甚化・頻発化する豪雨災害への対応はもとより、地域の安全・安心を確保するため、防災・減災、国土強靱化に、引き続き全力で取り組む必要があります。

激甚化する自然災害に対応するため、地域の安全・安心を確保するための社会資本整備の更なる推進を求め、神河町議会として意見書を提出する発議があり、全員が提出に賛同しました。

議会議員定数条例の一部を改正する条例制定の件

藤原裕和議員から議員定数を現行の12人から10人に減じる改正案が発議されました。1人の反対討論があり、反対多数で否決されました。



反対討論

栗原 廣哉

定数削減ありきではなく議会の本質を

議会の機能が果たせるか否かといった視点で議論を深める必要がある。

議会は、本来できるだけ多くの議員が出席して、十分な議論がなされることを期待されている。

議会の本来の役割と意義は、地方自治の本旨に基づいて、民意を政治・行政に反映することにある。

議会の存在意義である討議ができる人数を根拠に定数を模索する。

削減の理由として、少数精鋭にするためと言われるが、少数であっても精鋭になる保証はない。

定数削減よりも、むしろ定数を維持・増加することにより、議会力アップを図ることで、行政改革を推進することができると考える。

第97回臨時会

旧大山小学校・幼稚園解体撤去工事請負契約の件

廃校となった旧大山小学校舎・幼稚園舎・体育館・プールを解体、撤去するものです。

- ・契約相手 (株)片岡建設
- ・契約金額 1億4300万円
- ・工期 令和3年3月20日



想い出残る学び舎解体

第98回臨時会

条例の一部改正

「職員及び特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例」

人事院勧告を受け、職員、常勤の特別職、議員のボーナス(期末手当)を年間0.05か月分引き下げるものです。

令和2年度一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ780万6000円を減額し、総額を101億4635万2000円とするものです。

主な内容は、人事院勧告等による人件費及び共済費の増減です。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決した議案◆ ※第97回臨時会（11月9日開催）

議案番号	件名
第91号	旧大山小学校・幼稚園解体撤去工事請負契約の件

◆全員賛成で可決した議案◆ ※第98回臨時会（11月27日開催）

議案番号	件名
第92号	神河町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第93号	神河町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第94号	令和2年度神河町一般会計補正予算(第6号)
第95号	令和2年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第3号)
第96号	令和2年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
第97号	令和2年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
第98号	令和2年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
第99号	令和2年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第3号)
第100号	令和2年度神河町水道事業会計補正予算(第3号)
第101号	令和2年度神河町下水道事業会計補正予算(第2号)
第102号	令和2年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第3号)

◆全員賛成で可決した議案等◆ ※第99回定例会（12月8日～12月22日開催）

議案番号	件名
第103号	神河町教育委員会教育長の任命の件
第104号	神河町教育委員会委員の任命の件
第105号	神河町固定資産評価審査委員会委員の選任の件
第106号	神河町固定資産評価審査委員会委員の選任の件
第107号	神河町固定資産評価審査委員会委員の選任の件
第108号	神河町議会議員及び神河町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定の件
第109号	神河町議会議員及び神河町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例制定の件
第110号	神河町病児病後児保育施設設置条例制定の件
第111号	神河町税条例等の一部を改正する条例制定の件
第112号	神河町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件
第113号	神河町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第114号	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の一部変更について
第115号	令和2年度神河町一般会計補正予算(第7号)
第116号	令和2年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
第117号	令和2年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)
第118号	令和2年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
第119号	令和2年度神河町水道事業会計補正予算(第4号)
第120号	令和2年度神河町下水道事業会計補正予算(第3号)

発議番号	件名
第6号	激甚化する自然災害から「命」と「くらし」を守るための対応と社会資本整備の更なる推進を求める意見書

◆賛否の分かれた議案等◆

承認番号	件名	賛成	反対	議決結果	1 安部	2 三谷	3 欠番	4 小寺	5 吉岡	6 小島	7 欠番	8 藤森	9 藤原裕	10 栗原	11 澤田	12 廣納
第7号	神河町恒久平和のまち宣言制定の件	7	2	可決	○	○	—	○	○	○	—	×	○	○	×	—

発議番号	件名	賛成	反対	議決結果	1 安部	2 三谷	3 欠番	4 小寺	5 吉岡	6 小島	7 欠番	8 藤森	9 藤原裕	10 栗原	11 澤田	12 廣納
第5号	神河町議会議員定数条例の一部を改正する条例制定の件	1	8	否決	×	×	—	×	×	×	—	×	○	×	×	—

・○は賛成、×は反対です。12番の廣納議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。
・3番、7番は欠番となっています。

町議会と町商工会との 意見交換会

10月30日開催

この意見交換会は神河町議会意見交換会実施要綱に基づき、地域の声を施策に反映させるため実施しました。

このたびのテーマは「新型コロナウイルスが社会・経済に与える影響と今後の課題等」で、3グループに分かれ、討論を行いました。

出された貴重なご意見は、今後の町政に反映できるように努力します。

今後も各種団体、グループからの意見交換会のお申し込みをお待ちしています。

主な意見は次のとおりです。

「Aグループ

産業・観光

・GOTOキャンペーンで大手の企業は恩恵を受けているが、中小企業（田舎の企業等）は受けていない。

・様々なイベントの規模が縮小され、仕出し屋さんも大変困っている。

・観光の方向性が変わってきており、アウトドア関係が急増している。

・道路脇で売っている野菜が良く売れている。

・田舎への観光ニーズは高まっている。一方で、

地域住民の不安、従業員の不安もある。ガイドラインに従った十分な感染

予防対策が必要。

・新しい生活様式のための職場の環境整備への補助金は良かった。



「Bグループ

地域・文化・伝統

・密を避けることのできる自然豊かな地域への注目が増えている。

・移住を推進するなら、受入体制（補助金など）の整備が必要。

・リモートワークの発展により、山間部でも高速な情報通信環境が求められる。

・葬儀は家族葬が増えるなど、祭事のスタイルが変わっていくことが懸念される。

・コロナ禍にあっても、地域行事、伝統行事を行う方法を検討する必要がある。（祭りの運営方法など）



「Cグループ

家庭・生活

・年間行事の中止が相次ぎ、季節感を味わうことができない。

・早くワクチンが開発されて、国民すべてに無料で接種できれば安心。

・粗大ごみをクリンセンターまで持って行けない独居老人の方が困っている。粗大ごみは、持ち込みに限定せず、自治会ごとに集積場所を作って回収してほしい。

粗大ごみに関する要望は、11月12日の民生福祉常任委員会の際、議会から町執行部に改善の申し入れを行い、検討する旨の回答を得ています。



ご冥福をお祈りします



藤原日順ひよし議員が、令和2年11月27日に逝去されました。

藤原日順議員は、平成22年4月に初当選以来、副議長、監査委員、議会運営委員長、広報公聴活動調査特別委員長、予算・決算特別委員長などの要職を歴任され、長きにわたり、町の発展と住民福祉の向上にご尽力されました。

ここに謹んで哀悼と感謝の意を表します。

※なお、現在の議員数は、10人となりましたが、公職選挙法の定めにより、補欠選挙は行われません。

委員会の活動

3か月ごとに、各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

総務文教

11月18日開催

教育課

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、令和元年度の神河町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について報告を受け、質疑を行い、当委員会として了承しました。詳細は、町ホームページ等で公表される予定です。

コロナ禍で延期となっている越知谷小学校、幼稚園の閉校閉園式は、3月に挙行される予定です。市川町の給食センターが老朽化しており、急に調理できなくなった場合は、神河町の給食センタ

ーで調理をお願いしたいとの要望を受け、両町の給食センターの現状、将来の児童生徒数、整備にかかる基本的なスケジュール等について、事務レベルで検討をしているとの報告を受けました。

Q 神河町史編纂について、町政20周年の令和7年完成を目指すとのことだが、進捗状況は。

A 今年度は、準備段階として町史編纂準備委員会を設置し、組織体制の協議や町史編纂委員の選任について検討する予定で、次年度予算に反映できるように進める。

Q 公民館図書インターネットでの貸出予約は、できるようになるのか。

A 図書管理システムの更新が来年度になるので、更新時にインターネット予約ができるように、委託業者と調整している。

「中播磨中学生人権作文コンテスト」で、43校から1万2775人が応募した中で、最優秀賞に神河中学校2年生の作文が、また、金賞に3年生の作文が選ばれました。

毎月11日の人権を確かめる日の新聞折り込みや、町広報等で紹介し、顕彰するように要望しました。

税務課

収納率向上のために取り組んでいる口座振替による納税者は、全体で45.9%となっており、前年度よりわずかに伸びています。

滞納税の徴収について、5月はコロナ禍で電話催告による納付依頼でしたが、9月は課員全員で訪問徴収を実施し、前年並みの収納率になっているとの報告を受けました。

会計課

令和2年10月末の現金等保管総額は48億4066万5885円です。同時点の一時借入金金は6億円、一時預貯金は1億円です。11月18日時点では、どちらも0円です。

総務課

令和2年度の国勢調査による人口は、前回5年前から約800人減少し、1万6000人程度になる見込みです。

越知谷小学校・幼稚園と地域交流センターの跡地活用の利用者を公募した結果、越知谷小学校・幼稚園は6者、地域交流センターは3者から応募がありました。今後、提案事業者からヒアリング等を行って、選考をしていきます。

ケーブルテレビのコミユニティチャンネル放送が、9月18日から21日までの間、停止したのは番組送出機の老朽化による

故障が原因でした。今回の事故を受け、発生時の確認体制と連絡体制の整備、住民周知の対応を確認したとの報告を受けました。

Q ケーブルテレビと防災行政無線の連携をきっちりしておかなければ、緊急時や災害時には困る状況になる。停電時には防災行政無線しか使えないが、現在も不具合が多い。

A ケーブルテレビと防災行政無線の協力体制の構築、連携は重要であると認識している。

令和2年度の普通交付税を基礎として作成された、令和20年度までの普通会計の収支見込シミュレーションの資料提示を受けました。全議員による情報共有が必要であるため、11月27日の臨時会閉会後に、改めて説明を受けました。

民生福祉

11月12日開催

← 公立神崎総合病院

令和2年8月末現在の入院患者数及び外来患者数の昨年度比較は、入院・外来とも10%の減です。県立病院全体と比較すると、減少幅は小さくなっています。

入院患者数は10%の減ですが、収益が5.2%の減、外来患者数は10%の減ですが収益が8.3%の減で収まっているのは、単価が上がったためと考

経営改善に向けた取組

第1回経営改善対策本部会議（9月29日開催）での決定事項

①収入増対策

○午後検診の推進
人間ドックの午後検診を、まずは月曜日のみから始める。
〔効果額100万円/月〕

○病棟運用の見直し

入院患者の取扱いとして、現在、包括支払制度病院として、2段階目の単価の高いところで退院していただいているが、地域性を踏まえ、3段階目の単価の低い期間に入っても希望者が入院を継続できるようにする。
〔効果額500万円/月〕

②費用抑制策

○電力料金の削減
電力会社間での競争で料金削減を図る。
〔効果額600万円/年〕

○タクシー借上料の削減
非常勤医師の送迎を、姫路駅からしていただいたものを最寄り駅にする。
〔効果額300万円/年〕

○公費負担要件の見直し
・厳格化
日・当直職員等への給食の無償提供を停止する。
学会活動費の公費負担を他病院並みに抑制する。
〔効果額200万円/年〕

Q 独居老人等の事情で、もう少し入院を延長してほしいという要望が

かなくてからあったが、今後は対応してもらえるのか。

A すべてのケースに対応できるとは言えないが、診療報酬上の縛りの範囲内で、できるだけ入院してもらえようように対応する。

← 健康福祉課

Q 姫路市内の産婦人科で分娩する場合、妊婦のPCR検査は市内・市外在住者に関わらず全員無料で受診できる。

しかし、立会人の検査料は、9月1日から市外在住者は有料（2〜3万円程度）となった。

A 町民から出産立会人のPCR検査料は町補助で無料にすべきという要望があった。少子化対策に力を入れている神河町として補助すべきと考えるが。

A 町民の9割以上が姫路市の医療機関で出

産されている。調査した結果、立会人の検査が必要な医療機関があれば、必要ない医療機関もあり、様々な状況である。郡内3町で協議した結果、補助は行わないこととした。

理由は①すべての妊婦に平等に援助することにしない。②立会人がPCR検査を受けて陰性であっても、翌日には陽性という可能性もある。町が支援することにより、医療従事者へのリスクを高めてはならない。

← 住民生活課

Q 次期ごみ処理施設の処理方式と稼働年数は。

A 全国的に一番多く、技術も確立されているストーカ方式（焼却式）が有力と思われる。稼働期間は30年間である。

Q ニガ竹処分場（残土砂等処分地）の延命措置をすれば、相当期間

の受入れが可能となる。

しかし、料金収入が大幅減となり、計量器の修繕や人件費を考えると、延命する価値があるのか。

A 経費節減のため、シルバー委託はやめ、役場職員が現場に利用者と同行し受付する。計量は車検証に記載されている最大積載量で計算することを考えている。

← 上下水道課

Q 町内に3か所ある公共下水の浄化センターの老朽化対策は。

A 3施設とも今年度で長寿命化工事が完了し、今後20年間は十分使える見込みである。

また、全国的に人口が減少している中で、長期的な展望として、広域下水道が必要と言われている。中播磨ブロック（姫路・福崎・市川・神河）での協議が予定されている。

産業建設

11月6日開催

建設課

Q 貝野橋東側の信号機移設の関係で、車両用は完成するが、歩行者用は遅れるのはなぜか。

A 車両用信号機は、今あるところから見やすい位置への移設のため今年度できるが、歩行者用信号機は新設となるので、来年度になる。

Q 橋梁修繕工事は、道路舗装経費の場合と橋梁補修経費の場合に分かれているが、どういった基準で分けているのか。

A 舗装の割合によって、道路舗装の経費の場合と橋梁補修の経費の場合に分けている。

地籍課

地籍調査は、計画どおり順調に進捗しています。

地域振興課

《農林業係》

Q ミツマタの出荷を調整中ということだが、出荷する能力はあるが、真庭市（岡山県）側が受け入れられないので調整しているのか、また、受入単価の関係で、出荷を見合わせているのか。

A 真庭市からは、単価、受入量とも昨年並みでお願いしたいと聞いている。現在、具体的な出荷時期を調整している。

Q 神河町スマート農村・山林促進事業補助金交付要綱の施行日は。

A 令和2年10月15日に公布し、同日から施行している。

Q 公布日以前に購入した草刈機等は、補助対象にならないのか。

A 基本的には、公布日以前に購入したものは補助対象にならない。

《商工観光係》

Q 水車公園こっとう亭が行う、お取り寄せ通信販売の内容は。

A ボタン鍋とイノシシコロッケの通信販売を行っている。

Q 夏場も峰山高原で駐車料金を徴収するのでは検討されたか。

A 8月でいうと、前年度比200%以上のお客さんが来られている。そういった部分も含めて経営的に考えると、徴収することも必要かと思うので、協議していきたい。

《ひとまち・みらい課

Q シングルマザー移住支援事業で、6月以降に2組5人の方が来られているが、どのような方が来られ、どのような感触を持たれたか。

A 実際には11月初めにも1組の方に来ていた。ただ、合計3組9人となっている。3組の方は、福岡県、鳥取県、神戸市

から来られており、カクレ畑体験施設に滞在され、非常に好印象で帰られた。

Q 地方創生の関係で任意団体として補助を受けて購入した機械を、一法人の所有にするというところについて、法的な部分での問題はないか。

A 地方創生交付金で、必要となる機械を取得した。そして、この任意団体が、自立するための稼ぐ力をつけて法人化したので、法的な問題はないと考えている。

現地調査

10月21日

貸工場建築工事、町道福山2号線舗装新設工事、貸工場進入路舗装工事、作畑イチゴハウス、町道砥峰線維持修繕工事、砥峰高原第3駐車場整備工事、峰山高原スキー場ゲレンデ緑化工事、峰山高原ホテルリラクシア駐車場舗装工事、町道水走り中河原線道路改良工事の現場を視察しました。



建設中の貸工場（福本区）

県道長谷市川線改良促進議会連絡協議会

10月28日、県道長谷市川線改良促進議会連絡協議会の現地調査及び総会が開催されました。

比延地内の歩道設置工事は、令和3年度中に完了予定、また、市川町澤地内の第二サルカク踏切拡幅工事とそれに伴う県道改良工事は、令和2年度中に完了予定とのこと。

みなさんの **声** を 町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は5人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送日
11	藤森 正晴 議員	①栗賀小学校跡地をどう生かすのか	2月9日(火) 午後7:00~
12	澤田 俊一 議員	①コロナ禍における地域活動の再開に向け町として必要な取組について	2月9日(火) 午後8:00~
13	栗原 廣哉 議員	①神河町役場の組織と人事について	2月10日(水) 午後7:00~
14	小寺 俊輔 議員	①新型コロナウイルス流行下でも安心して出産できる環境づくりを	2月10日(水) 午後8:00~
15	小島 義次 議員	①通学路における交通安全対策 ②展示商品軽自動車に対する税免除は ③神河町行政におけるデジタル化の状況	2月11日(木) 午後7:00~

主な議会日程

2月
 3日(水) 産業建設常任委員会
 10日(水) 民生福祉常任委員会
 16日(火) 総務文教常任委員会
 24日(水) 議会運営委員会

3月
 2日(火) ~ 5日(金)
 第100回定例会
 (提案・質疑等)
 9日(火) 総務文教常任委員会
 (付託議案)
 11日(木) ~ 12日(金)
 予算特別委員会
 (付託議案)
 17日(水) ~ 18日(木)
 定例会(一般質問)
 25日(木) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります

本会議等の傍聴について

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、しばらくの間、本会議等の傍聴については、できる限りお控えいただくようお願いいたします。

皆さまの御理解と御協力をお願いいたします。

神河町の将来を左右する栗賀小学校跡地はこれでいいのか？ これがいいのか！



藤森 正晴 議員

町長

「にぎわい」につながる
施設の整備を考えている



拡張可能な栗賀小学校跡地

Q 栗賀小学校跡地をどう生かすのか。
A 町長 住民要望の多い公園・図書館の整備を考えている。

Q 周辺の拡張も可能であり、播但連絡道に近く、企業誘致には好立地である。若者の雇用・人口減少対策として、企業誘致をすべきではないか。

A 町長 企業誘致を否定するわけではない。地域の「にぎわい」につながる施設の整備を考えている。応募いただく事業者に収益事業を行ってもらうことで、雇用が生まれる。これも一つの企業誘致である。

Q 神崎エリアの社会体育の拠点としての施設（体育館）も含めた地域の賑わいを創出すべきと思うが。

A 町長 多額の予算が伴うので厳しい。



体育館（左）武道場（右）

神崎体育センター廃止：

Q 神崎体育センターの利用者数は、町民体育館の約4倍であり、廃止となると、問題である。耐震補強をして残すべきではないか。

A 町長 将来の人口動態や財政負担を考えると、耐震補強するのではなく、現在ある施設を活用するべきだと思う。武道場は耐震構造上問題がないので、存続していく。

代替施設として、神崎小学校体育館・グリーンエコー笠形B&G体育館・長谷の町民体育館・越知アクティブセンターを利用

Q 神崎小学校体育館は、学校行事のとき、B&G体育館は観光客の利用で使えないときがあり、不便である。

A 社会教育特命参事 毎年、各種団体と日程調整を行っている。代替施設についても、利用者間の調整により、円滑な利用が可能だと考えている。

Q 代替施設利用時の鍵の貸し出し等の手続きを簡素化すべきである。また、管理人を置く思いはあるのか。

A 社会教育特命参事 現在、鍵の貸し出しは、学校、役場本庁で行っている。不便なこともあり、改善したいと考えている。管理人については、検討していく。

公園・図書館の
施設イメージは

A 町長 公園は単なる遊び場ではなく、来訪される方々や、観光バスなどにも対応できるような駐車場やトイレ、芝生広場等を含めた総合公園という考え方を持っている。その中に図書館や集客施設を想定している。



日本へそ公園（西脇市）

ひとこと

これでいいのか？
これがいいのか・・・
“で”と“が”では大きな
違いがある。利用者は

Q コロナ禍…地域活動の再開に向け 町として必要な取組を!



澤田 俊一 議員

町長

様々な情報を 時期を逸することなく
ケーブルテレビなどの媒体で伝えている

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの社会活動・経済活動が停止しました。

緊急事態宣言時のステイホームから、感染予防対策と地域経済活動を両立させるウイズコロナへと移り変わったが、今なお地域住民の不安な暮らしは続いています。

あらためて、人と人が出会い、対話し、つながりあうことの大切さを実感しました。

地域の多くの行事が自粛や縮小を余儀なくされ、人々の集いの場もなかなか再開することができません。地域力の低下を大変心配しています。

Q 町や教育委員会の事業の中止・実施を判断する基準は何か。

A 町長 兵庫県が示す最新のガイドラインに基づき、必要に応じて町の対策本部会議を開催し、方向性を確認している。最終的には各主催団体、事業課の判断となる。

A 教育長 小中学校の修学旅行は、子どもたちの安全対策を徹底し、保護者の理解を得た。

Q 「新しい生活様式」に基づく地域活動マニュアル等を示し、住民の安心できる活動を後押ししている自治体もある。



(参考)
岩手県紫波町の
地域活動マニュアル

地域の役員さんには、「もし感染者がでたら…」という不安が常にある。

神河町として、主体的に「感染予防しつつも」「地域活動を促す」ガイドラインやマニュアル等を示す考えはないのか。

A 町長 町として示すには安全性の確保が前提だ。各区から照会があった際は、基本的な考え方を示し、最終は主催者判断に委ねている。地域行事の判断を、町として行うべきものでもない。

Q 岩手県紫波町などのマニュアルを見て、どのように思われるか。

A 総務課長 大変分かりやすく、良い情報を提供されていると思う。

神河町にはケーブルテレビや防災行政無線などがあり、効果的に活用してきた。町の行事の判断基準が、地域にどこまで伝わったかは検証しなければならぬ。町への問い合わせには、誠意をもって対応してきた。

Q 集落のふれあい喫茶やミニデイ等の社会参加の機会が減り、体が弱り動きづらくなったなど、高齢者のフレイル(虚弱)対策が急務と考えるが。

A 保健師事業特命参事 社会参加ができなくなる何かの要因があることで、家の中に閉じこもっていく率が高くなる。ある地域の取組として、交流ができずにさみしい想いをしておられる方のために、人と人がふれあ

う方法として、電話で話したり、お手紙を出されている。神河町の地域力は素晴らしいと感じた。

Q ぜひ、そのような事例をケーブルテレビで発信してほしい。

次年度予算編成時期にあたり、低下しつつある地域力を回復する、町としての手立ては何か。

A 町長 特効薬はないが、地域コミュニティの在り方も含め原点に返り対応する。「新しい生活様式」に沿って、個々の事業の内容を見直す。

ひとこと

一般質問は
A案とB案の対決ではない。
真剣な「対話」からは
新たな知恵が生まれるはず。

神河町役場の組織と人事について



栗原 廣哉 議員

町長

役場・地域・住民と一致協力できる職員、時代の流れに迅速且つ柔軟に対応できる職員の育成は不可欠である

Q SDGsについて、神河町の取組は。

A 町長 私ども地方自治体としても、各行政分野における各種施策に照らし合わせながら、取り組むことなら、その目標を落とし込みながら取組を進めていきたい。

また、姫路女学院高等学校の学園長は、総務省から2年間の任期で出向されている方で、SDGsを担当されていた方と伺っている。ぜひ、講師に招聘し、職員対象の研修会等を開催していきたい。

Q SDGsに対応する職員の育成を。

A 町長 人口1万1000人にも満たない県下最少の神河町である。最少の人員で最大の効果を発揮するためには、組織の連携は欠かすことができない。そのためには、役場・地域・住民と一致協力できる職員、時代の流れに迅速かつ柔軟に対応できる職員の育成は不可欠と考えている。

Q 「広報かみかわ」の上半期の財政状況をお知らせする欄に、町債（借入金）で町民1人当たりの額が約208万円との記載があるが、住民の方から、どういう意味か分からないという意見があった。

A 町長 分かりやすい説明が必要ではないか。



Q 課参事制度について。

A 町長 平成26年度から、課長職の役割の明確化、後進人材の育成、そして、組織全体のモチベーションに配慮した中で、該当職員の理解を得ながら、退職前の参事制に取り組んできた。

Q 課参事制度の根拠は。

A 町長 参事制度は、総務課長、職務職階制の中で、課長、特命参事、参事、副課長、課長補佐、係長等の規定がある。

Q 今後の方針は。

A 町長 少子高齢化が進む一方で、働き手が減少している状況下において、定年延長が実施される可能性は極めて高いと考えている。また、定年延長が実施される時点に合わせて、課長職経験後の参事制見直しも、当然考えていく必要がある。

ひとこと

住民の皆様の意見を十分に反映させた質問を行っていきますので、色々な意見をお聞かせください。

新型感染症流行下でも 安心して出産できる環境づくりを



小寺 俊輔 議員

町長

直接補助ではなく、
違った形での支援を考えていく

新型コロナウイルスが蔓延する中、妊婦の不安は大変大きいと想像されます。「万が一自分がコロナに感染していれば胎児への影響は。」「家族が感染していれば出産後の子育ては。」等心中を察するに余りあります。

そういった状況下、姫路市は「未来を守るプロジェクト」を立ち上げられました。内容は姫路市内の産院で出産予定の妊娠後期妊婦と出産に立ち会う配偶者等にPCR検査を実施し、その費用を全額姫路市が負担するものです。妊婦のストレスを少しでも軽減し、安全安心な出産につなげるとともに、新生児への感染リスクを最小限に抑えるため、また、産院での感染を予防し、地域の周産期医療の維持確保のためと発表されています。

8月31日までの期限付きで、妊婦の住所に関係なく全ての方を対象に始められたが、9月以降も新型コロナウイルスの猛威は一

向に衰えないため、9月からは、妊婦は全員公費負担、立会される配偶者等は姫路市内在住の方は公費、それ以外の方は実費負担として事業を継続されています。

Q わが町としては、町内在住者で、9月以降実費負担をされて出産立会いされた方、今後立会いされる方の負担分を公費で賄い、少しでも安心して出産できる環境づくりを応援するべきではないか。

A 町長 これまでしっかりと支援策を講じてきた。国の3次補正が年明けから具体化してくる。まだまだ支援が足りない部分は今後協議していければと思っている。

これまでの支援策は地域創生、地域が元気になることを基本に実施してきた。PCR検査費用を直接補助するのではなく、地域が元気になることを基本に、違った形で何か考えていきたい。

Q 財源について問う。これまで国から町にコロナ対策に使ってくださったと示された交付限度額が3億6279万9000円、確定していない事業もあるが、使ったのが3億3320万8000円である。まだ国からのコロナ対策交付金としては2959万1000円余っている。

今定例会初日、一般会計補正予算での財政特命参事の答弁では、事業確定による不用額、これから交付される予定の第3次交付分は、町がコロナ対策で行った様々な事業の一般財源分に充てるとのことだった。

確かに神河町は裕福な町ではない。財政も非常に厳しい中、なんでも助成するわけにはいかないことも理解している。コロナ対策で5830万2000円が一般財源と多額の持ち出しをされたことも理解している。

町独自の事業所元気回復支援金など他町に勝る

事業を計画、実施されたときの思いは、町も全力で応援する、コロナに負けるな、そういった思いでやられてきたと私は思っている。そういった思いであれば、事業確定により不用額が発生した場合、必要とされる第2弾、第3弾の施策を探し出して実施していくのが、町民に求められる行政の在り方だと思うが。

A 財政特命参事 今までの臨時交付金については、限度額以上の事業を実施しているのでも、不用額は一般財源にまわす。制度的には今回の提案を事業にのせることは可能である。

ひとこと

3次補正での
支援策に期待

通学路における交通安全対策は？



小島 義次 議員

町長

毎年「通学路交通安全対策協議会」で
必要な対策について協議している

Q 通学路交通安全プログラム(対策一覧表)は、いつ更新しているのか。

A 教育課長 毎年10月ごろに協議会を開催し、現地調査とその対策の完了・継続・要望について検討し、更新している。

Q 通学路対策箇所の10か所の進捗状況は。

A 教育課長 グリーンベルトの設置は1か所終了、ほか2か所と注意喚起の看板2か所は今年度中に設置予定。継続要望は信号機の設置・国道の歩道拡幅各1か所。今年度完成予定箇所は比延地内の歩道、吉富地内の一旦停止看板、宮野地内の横断歩道設置である。

Q 寺前小学校・神崎小学校付近での「学校マーク」路上表示は。

A 教育課長 神崎小学校は「ゾーン30」や歩道が整備されており、学校マークを設置する適当な箇所がない。寺前小学校前の町道は、

車がスピードを出して危険との指摘もあり、この町道の改良工事が全線完了した時点で協議したい。



学校マーク

展示商品軽自動車に対する税免除は

Q 税条例の中に「商品であって使用しない軽自動車等(中古車販売業者名義で届出されている商品軽自動車を含む)に対しては、種別割りを課さない」との趣旨の条文を加えてはどうか。該当車は棚卸資産に対する課税、道路をほとんど走行しない軽自動車に対する課税であり、コロナ禍における中古軽自動車の流通の円滑化のためにも課税免除の対象とするべきである。

A 税務課長 業者側には不利益が生じているとは考えにくいため、現時点での条例改正は考えていない。

行政におけるデジタル化の状況

Q デジタル化に向けて、取組と可能なオンライン化は。

A 情報発信特命参事 コンビニでの各証明書の発行、公金の決済を実施している。リモート化・デジタル化のための機器導入等の準備を行っている。

Q 「マイナポータル・ぴつたりサービス」の利用状況と今後の方針は。

A 情報発信特命参事 行政サービスの検索、一部オンライン入力・申請書の印刷が可能。デジタルデータでの提出等オンライン申請はできない。過日の特別定額給付金の電子申請も1.3%であり、需要は多くない状況である。補助金を活用して、電子申請の導入を検討していく。

Q 押印廃止の対象リストの洗い出しは。

A 情報発信特命参事 検討や準備を進めている段階であり、本作業はこれからである。押印を廃止できるか否か、調整が必要な書類の仕分け等で大量の事務作業が必要となるため、コンサルタントの助言をもとに効率的に進めていく。

Q 不登校児童・生徒への学習支援としてオンライン授業の方向性は。

A 教育課長 町内小・中学校全児童・生徒に1人1台の端末(タブレット)を導入している。オンライン学習など、家庭での活用も視野に入れ、活用方法を検討している。質問の学習支援については具体的な方針は決定していないが、有効な手段と考えている。

ひとこと

コロナ禍を新しい生活様式で乗り越えよう。

まちかど

インタビュー

第3回



取材日：12月20日

第3回は野外自主保育に取り組まれている「みあいっ子」代表の林田直子さん（福本区在住）にお話を伺いました。

自己紹介をお願いします

北海道出身で、現在は2児の母です。以前は保育士を9年ほどしていました。東日本大震災の



林田さん親子

ときに宮城で支援活動に携わり、主人と出会いました。

宮城では3年間、被災地のこどもたちが安心して遊べるコミュニティを作る活動をしていました。

『みあいっ子』について

就学前の3歳から5歳の子を持つ母同士で、こどもたちの預かり合いをしています。先生と呼ばれる人はいませんが、神河の自然がこどもたちの先生です。雨の日も夏の暑い日も、毎日外で遊んでいます。親も子も共に育ち合うのが「みあいっ子」です。

大切にしたい想いは

とにかく思いっきり、自然の中で遊びこみ、親

も子も共に育ち合いたいという母たちの想いでスタートしました。園舎や遊具も無ければ先生も居ませんが、何も無いからこそ、素晴らしいこともたくさんあります。

自分たちで運営するには大変なことも多々ありますが、それ以上にたくさんの方の気づきや学び、喜びが親にもあります。

先生ではないけれど、先に生まれた大人としてこどもたちには、思いっきり遊べる環境を与えられたらと思います。

子育て中のみなさんへ

神河には恵まれた豊かな自然がたくさんあります。こどもも大人も、もっと楽しまないと勿体ないと感じます。

子育て観は、人それぞれだとは思いますが、物や情報に溢れた時代だからこそ、シンプルに野遊びや山遊びをお勧めしたいです。

町や町議会に望むこと

小さな団体の活動ですが、地域の方々には、いつも温かく見守っていただき、この場をお借りして感謝申し上げます。

野外での自主保育がもっと認知され、たくさんの方々へ愛される活動になるよう応援していただけたら嬉しいです。



あとがき

99回の議会を終え、次は100回目を迎える。

合併後の議員数26人。議場の席数16、両サイドに補助席を作ったスタートである。いくつ審議してきただろうか、数え切れない。立たずして席を温めたこともある。合併後の条例の見直し等、互敬互譲の心で取り組みたいこと。中学校の統合では、位置、建築費の協議。スキー場建設には、緊迫した協議が行われ、6対5の可決となる。数々の審議が神河町の歴史をつくり、未来がある。

ご意見ご指導をよろしく
お願い申し上げます。
100回記念講演会は、
4月14日の予定。
(M・F)

広報公聴活動調査

特別委員会

委員長	小島 義次
副委員長	吉岡 嘉宏
委員	藤森 正晴
委員	栗原 廣哉
委員	澤田 俊一